

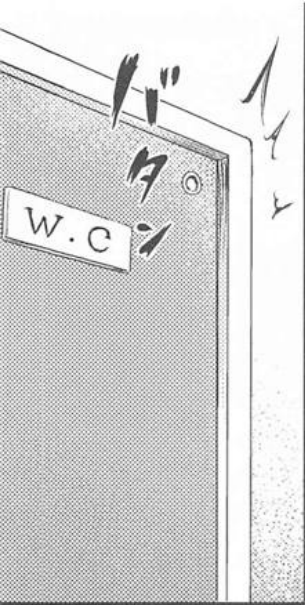
DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

パ
チ
ユ
リ
ノ
ー
レ
ッ
シ
ン

快
発
記
録

II





ギイ...

カチヤ

失礼します...



コン...
コン...
コン...



いい...
いい...
いい...
...?
...?
...?
いいですね

ドクン...

ドクン...

ギシッ



パチュリー様.....

ドクン...

じゅく...



.....

ドキ...

.....

なぜ自分のような
一介の司書見習いに
こんなことが
許されているのか

パチュリー様の
真意は未だに
分からないが

パチュリー様が
刺激を求める頻度は
確実に上がっていた

ちょ…っと
激しいってば…

声…でちゃう…
でしょ…っ

そ…そうですね…

確かに音が
トイレの外に
漏れるのは…

じゃあ
もっとゆっくり…

ここを
触りながら…

もぞぞ…

くに…



パチュリー様の
身体の「弱い部分」は
回数を重ねるごとに
さらに敏感になり



衝動に負けて
パチュリー様を
襲ってしまった
あの時から

罰という罰を
受けないのを
いいことに何度も
行為を繰り返したが...

パチュリー様が
一回の行為中に
いく回数は

最初の時とは
比べ物にならない
ほどに増えている…

また
イきそう
ですか…?

あ…?
あ…?

パチュリー様が
満足するまで
はあ…
はあ…
むん…
何度だって
付き合いますよ…

無理やり
襲ったくせに…
ふん…
何…
気取って
あ…
あ…

ぞくぞく…
は…
は…

ぐん…
キュンッ
キュンッ
キュンッ
ぎゅん
はっはっはっ
はっはっはっ



日中はほとんど動かずに本を読みふけているパチュリー様…

日によっては本に丸一日座ったままの落ち着いた時もあるが



「一応小悪魔さんには『新魔法の開発で図書館を離れることが多くなった』と説明しているらしいが

正直いつかバレてしまうのではないかとヒヤヒヤした毎日を送っている…



時折ソワソワとした様子でふと席を立ちどこかへ姿をくらますのも

もはや珍しいことではなくなった

今日はどうかだろう…



そして最近になってまた一つ変化が…

スタスタ

スタスタ

ガタッ

じゃ







感触で分かる：
パチユリー様の
小さくてあつたかい
口……

な：膣内とは
また違う
ぬくもりが……

自分よりもはるかに
位の低い司書見習いのを
しゃぶるなんて
屈辱的なんじゃないかと
思っていたけど

……そうか……
だから僕はあくまで
一人で立ってる体
なのか……



……さつきとは
指を出し入れする
速さが……音が
まるで違う……

無口なパチユリー様が
みずからこんな
下品な音を……

口に唾えてるモノを
オカズにして……



一体どんな格好で
膣内をかき回して
いるんだろう……

ちゅー
んー

ちゅー
んー

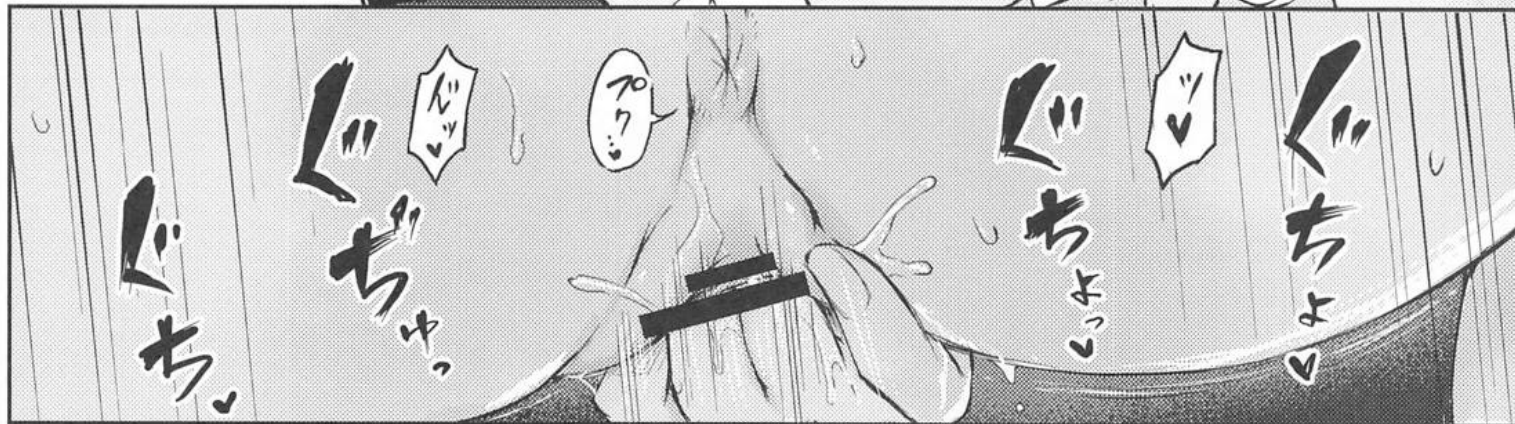
ちゅー
んー

ちゅー
んー

んー

ちゅー

ちゅー



ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー



吸いつきが
強……

く……口に
出してしまっても
いいの……？
い……や……

う……
とく……
パチユリー様が
イキそうな時の
甘え声……

んー

んー

んー

んー



気持ちよすぎて
もう……

ぐわん

ぐわん



ぐわん

ぐわん

出す……

は……

は……



ハッ……

す……
すみませ……

……

ハッ……

ハッ……



ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

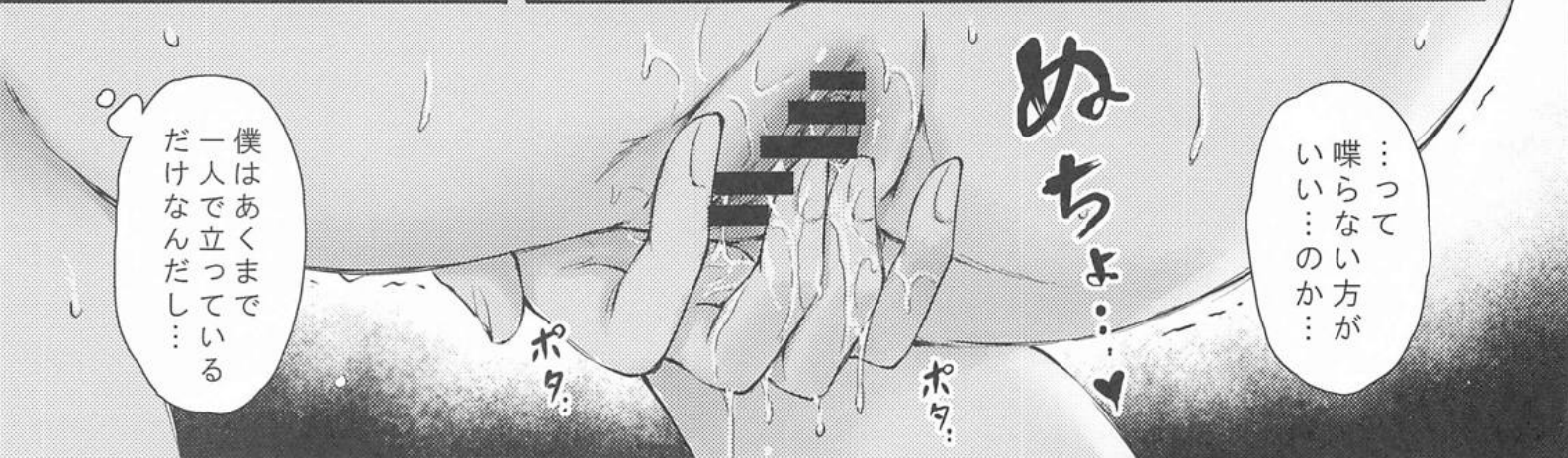
ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん



ぬちよ……♡

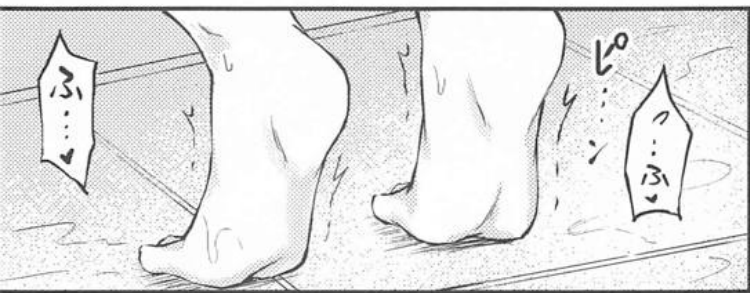
……って
喋らない方が
いい……のか……

僕はあくまで
一人で立っている
だけなんだし……

ポタ……

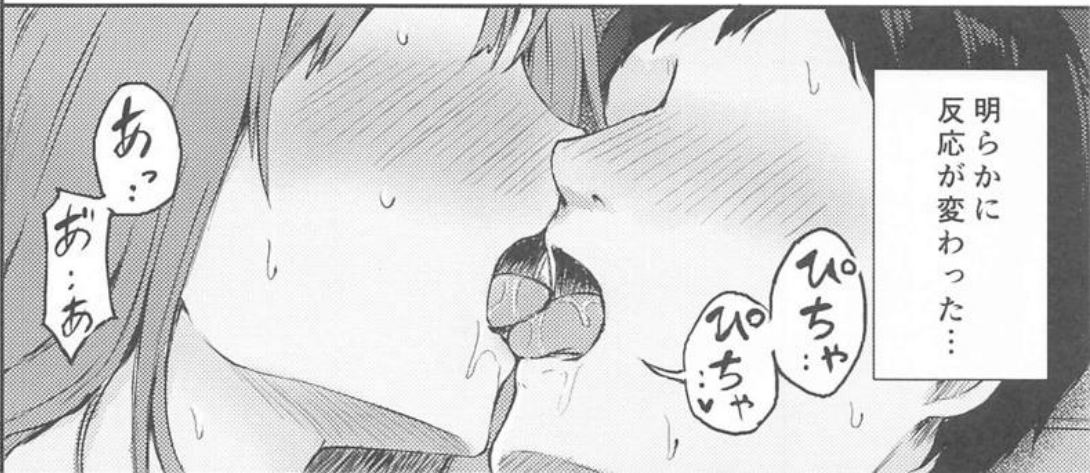
ポタ……







お...お口が
寂しいんですか...?





ここまで
気持ちよさそうに
身体を震わせる
なんて…



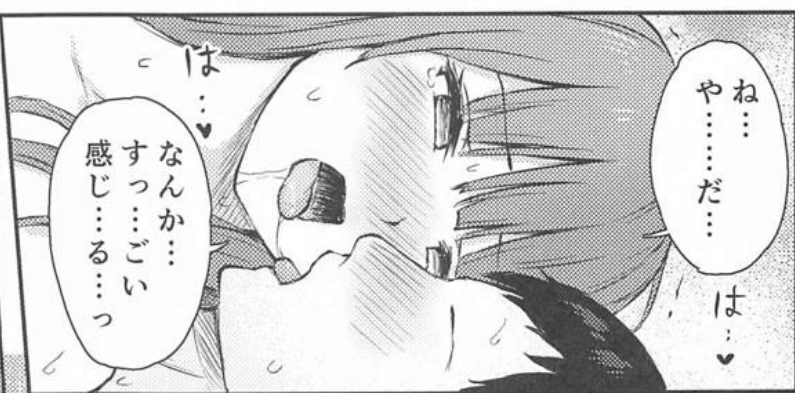
またエッチに
なってます…

きゃっ

みちち

きゃ

はい…
パチュリー様の
身体



ね…
や…だ…

は…

なんか…
すっ…ごい
感じ…る…っ



乳首も
ここまで
やらしく
大きく
なって…

お…ッ

くに…

んあ

びん

んあ

びん

お…ッ

お…ッ

パチュリー様の
本能丸出しの音が
浴室中に響いてる…



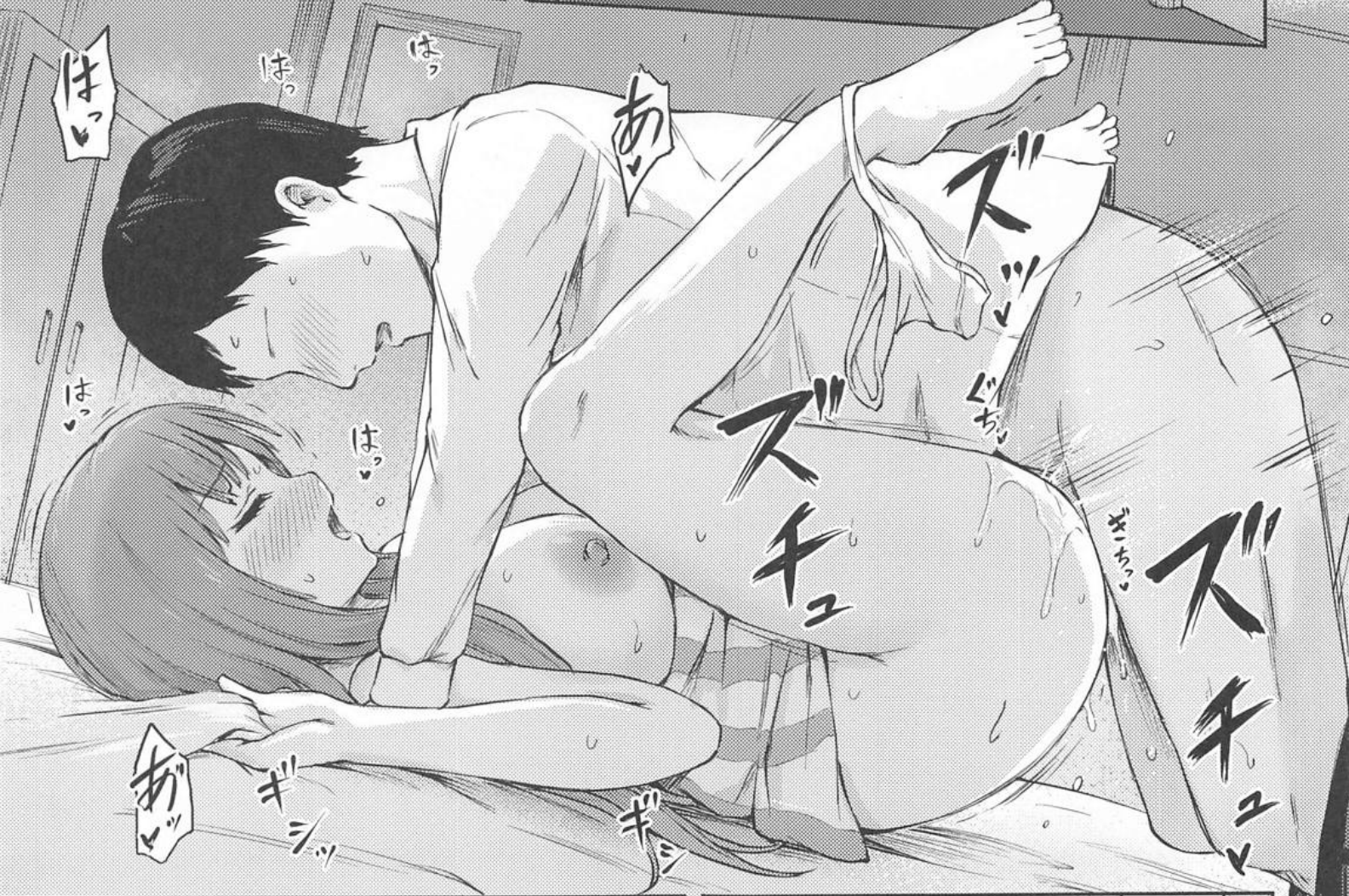
口で塞いでも
漏れ出て外まで
聞こえてしまいそうな
ほど……



もっと
パチュリー様と
愉しみたい……



はあ…
はあ…
すみません
もう…っ



全身で快楽を求める パチュリー様が 可愛すぎて……

その口も含めて 身体の上から 下まで……

夕食の時も…… 盛りっぱなし だったん……でしょ……



ね...
イっ...

イぎそ...

ンロ...

くち...

ま...た...
へんな声...出ちゃ...

出っ...あ...



ん...んあ...

ん...んあ...

りゅ...



ん...

ん...

ちゅ...

ん...



はい...

も...もっ...と...
ぎゅって...
しな...さ...

むぎ...

むち...

もぞ...



ん...

ぎゅ...

ん...



体重が乗って...
奥まで
突くたびに...

パチユリ様の
はしたない声と
吐息が耳元で...

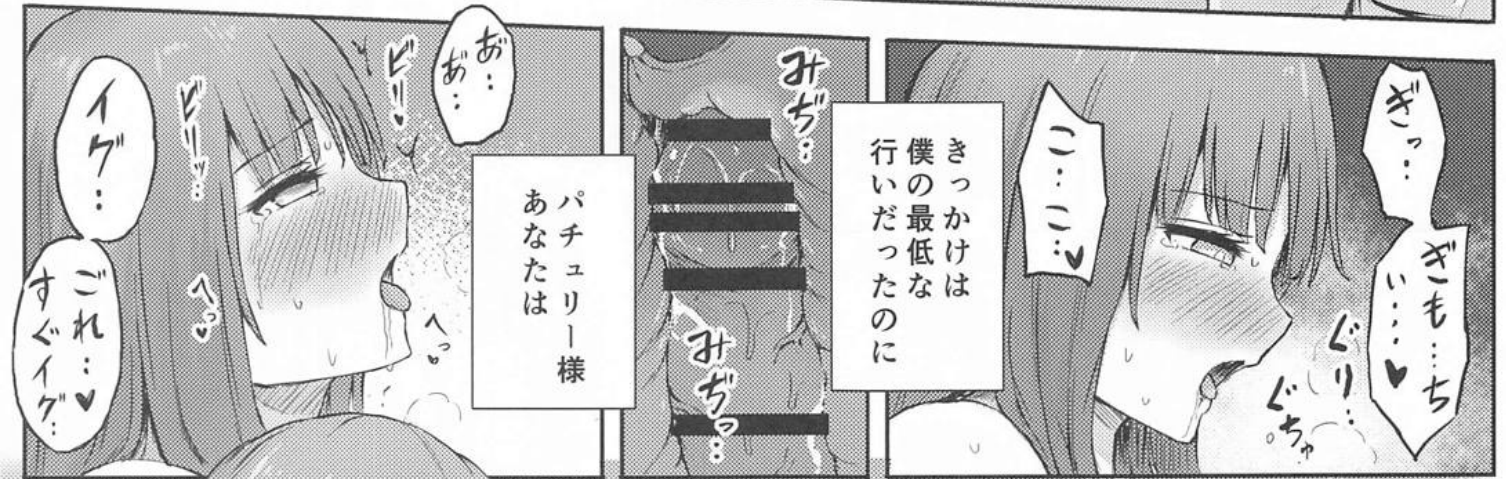


これ
やばい...っ

急に...



今までに見つけた
膣内の…すごく
感じる部分に…







ま……た……
出……る……

ま……待……つ……へ……
ち……よ……と……

い……く……の……
休……ま……へ……

ぐぢょ

ぐぢょ

あ……ッ



当……た……つ……て……ま……す……か……

パ……チ……ュ……リ……様……の
大……好……き……な……と……こ……ろ……

ッあ

ポッ

ギョ

ギョ

はっ

はっ
あ



な……か……
ぜ……ん……ぶ……
ぎ……も……ち……っ……い……

ぜ……ん……ぶ……
す……ぐ……
い……ひ……や……う……か……ら

も……う
い……き……つ……ば……な……し……で

う……

意……識……も
膜……朧……と……し……て……き……て
い……る……様……子……な……の……に……



あ……だ……つ……て……
る……っ……か……ら……

な……か……
ぜ……ん……ぶ……

はひゅ

はひゅ



なおも本能だけではしたなく
お尻を振って

口と裏腹に
夢中で快楽を
貪ってる……

ばちゅ

ばちゅ

ずちゅ



い……
今までで一番



あ……
あ……
すごいのを……



げ：限界まで
搾り取って……
ください……

もう僕に
できることは……



本当に
どこまで……

ひろ……



——書庫の時から
一日を通して何度も
絶頂を繰り返す

もうお互い
疲れ果てて
ほとんど身体も
動かなくなっていたが

その後も…



ん……っ♡

また出る…

ぷる…

ひゅっ

まだ緩く刺激を
求めるパチュリー様の
身体をいじり続けていた
………

はあ…

はあ

はあ

あ…

くしゃ…

くしゃ…

くしゃ…

くしゃ…



………
………
………
………
………
………
………
………

ちゅぽ…



ハア…

ハア…

もう朝になります
パチュリー様…

お食事も
摂らないとですし

さすがに眠たく
なってきたのでは…

ちゅぽ…

ちゅぽ…



もう少しだけ…

このままで…する…

キゅ…

ぜんぶ…

あなたのせい
なんだから…

どうも、てちでございます。
今回はパチュリー開発本の続編となりました。

続きものということで導入もそこそこに、冒頭から最後までエッチなシーンを詰め込めて個人的には非常に満足しております。反面、前作を読んでいない方が置いてけぼりにならないかという不安もありますが…
竿役男君がパチュリーを襲ってなんか身体をエッチにしたという最低限のことは分かっていただけてるはず…
というかそれ以上の情報ほぼないけど…

パチェ本は何かいい構想が浮かんだらまた描きたいと思います。
それでは、本誌をお手に取っていただきありがとうございました。
(Twitterなどで本の感想をいただけると喜びます)

てち

誌名：パチュリー・ノーレッジ快発記録Ⅱ

発行：てこめんち

発行者：てち

発行日：2021年10月24日

(博麗神社秋季例大祭8)

Twitter：@Techi0001

e-mail：techi35499@gmail.com

原作：上海アリス幻楽団 様

印刷：大陽出版株式会社 様

**Touhou Project fanbook
Presented by Tekomenchi**